

平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 エスピー食品株式会社
 コード番号 2805 URL <http://www.sbfoods.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 博行
 問合せ先責任者 (役職名) 管理サポートグループ経理管理室室長 (氏名) 山崎 崇弘
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

TEL 03-3668-0551

配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	36,105	1.7	2,302	4.5	2,355	3.5	1,640	2.9
30年3月期第1四半期	35,484	4.6	2,409	34.2	2,440	34.8	1,690	52.7

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 1,633百万円 (15.7%) 30年3月期第1四半期 1,937百万円 (194.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	258.35	
30年3月期第1四半期	266.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	110,249	41,651	37.8
30年3月期	103,045	40,272	39.1

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 41,651百万円 30年3月期 40,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		40.00		40.00	80.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		40.00		40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	73,000	1.2	3,800	0.8	3,700	0.2	2,500	2.2	393.68
通期	144,500	1.5	6,600	3.3	6,500	5.0	3,900	0.3	614.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	6,977,117 株	30年3月期	6,977,117 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	626,728 株	30年3月期	626,686 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	6,350,405 株	30年3月期1Q	6,350,975 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移したものの、海外経済の不確実性の高まりなどにより、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、将来への不安を背景としたお客様の節約志向が根強いなかで、消費行動の多様化や市場構造の変化への対応が求められるなど、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなかで、当社及び連結子会社は、企業理念・ビジョンのもと、中期経営計画に基づき、スパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいりました。

おいしさの追求はもちろんのこと、高い品質と新たな価値を創出し、暮らしに役立つ製品を生み出すため、お客様視点での製品施策や、これを実現するための生産体制の整備を進めるとともに、関係各部門が一体となったマーケティング活動を進めて行くことにより売上高と収益の拡大を目指してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、食料品事業において香辛調味料グループが好調に推移し、その他主力製品も堅調に推移いたしました。また、調理済食品も前年同期を上回りましたことから、前年同期比6億20百万円増の361億5百万円（前年同期比1.7%増）となりました。利益面では、売上高の増加に加え、原価低減に努めたことなどから売上総利益は増加しましたものの、積極的なプロモーション活動により販売促進費や広告宣伝費が増加しましたことから、営業利益は前年同期比1億7百万円減の23億2百万円（同4.5%減）、経常利益は前年同期比85百万円減の23億55百万円（同3.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比49百万円減の16億40百万円（同2.9%減）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載しております。

セグメント及び製品区分別の連結売上高の詳細につきましては、8ページ「3. 補足情報」をご参照ください。

(1) 食料品事業

売上高は、前年同期比5億20百万円増の310億46百万円（同1.7%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は前年同期比57百万円減の23億28百万円（同2.4%減）となりました。

(2) 調理済食品

売上高は、前年同期比99百万円増の50億59百万円（同2.0%増）となりました。セグメント損失（営業損失）は35百万円（前年同期はセグメント利益12百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して72億3百万円増加し、1,102億49百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加41億15百万円、売上債権の増加21億37百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して58億24百万円増加し、685億97百万円となりました。これは主に、借入金の増加62億90百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して13億79百万円増加し、416億51百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加13億90百万円などがあったことによるものであります。この結果、自己資本比率は37.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通りに推移いたしましたことから、平成30年5月11日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきまして、変更を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,704	22,820
受取手形及び売掛金	25,063	27,201
商品及び製品	5,987	6,320
仕掛品	2,193	2,196
原材料及び貯蔵品	5,420	5,754
その他	638	570
貸倒引当金	△362	△362
流動資産合計	57,644	64,501
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	11,992	12,150
機械装置及び運搬具 (純額)	6,987	7,255
土地	8,840	8,829
その他 (純額)	2,767	2,678
有形固定資産合計	30,587	30,914
無形固定資産	691	758
投資その他の資産		
投資有価証券	7,783	7,705
固定化営業債権	3,837	3,837
その他	6,657	6,688
貸倒引当金	△4,156	△4,157
投資その他の資産合計	14,121	14,074
固定資産合計	45,400	45,747
資産合計	103,045	110,249

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,020	10,493
短期借入金	19,950	23,458
未払法人税等	1,486	750
賞与引当金	1,196	713
資産除去債務	2	2
その他	12,880	13,150
流動負債合計	45,536	48,569
固定負債		
長期借入金	8,514	11,296
退職給付に係る負債	6,598	6,590
資産除去債務	183	184
その他	1,940	1,957
固定負債合計	17,236	20,028
負債合計	62,773	68,597
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,337	5,337
利益剰余金	32,862	34,253
自己株式	△2,929	△2,929
株主資本合計	37,015	38,405
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,716	2,670
土地再評価差額金	867	863
為替換算調整勘定	△11	12
退職給付に係る調整累計額	△314	△299
その他の包括利益累計額合計	3,257	3,245
純資産合計	40,272	41,651
負債純資産合計	103,045	110,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	35,484	36,105
売上原価	20,577	20,695
売上総利益	14,907	15,409
販売費及び一般管理費		
販売促進費	7,484	7,729
その他	5,013	5,377
販売費及び一般管理費合計	12,497	13,106
営業利益	2,409	2,302
営業外収益		
受取利息	16	0
受取配当金	79	87
不動産賃貸料	9	9
為替差益	—	21
その他	72	67
営業外収益合計	177	185
営業外費用		
支払利息	135	127
為替差損	6	—
その他	5	5
営業外費用合計	147	132
経常利益	2,440	2,355
特別利益		
固定資産売却益	1	3
特別利益合計	1	3
特別損失		
固定資産除却損	5	17
ゴルフ会員権評価損	4	—
その他	1	1
特別損失合計	11	18
税金等調整前四半期純利益	2,429	2,339
法人税、住民税及び事業税	736	706
法人税等調整額	2	△6
法人税等合計	739	699
四半期純利益	1,690	1,640
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,690	1,640

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	1,690	1,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	230	△46
為替換算調整勘定	△0	23
退職給付に係る調整額	17	15
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	247	△7
四半期包括利益	1,937	1,633
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,937	1,633
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,525	4,959	35,484	—	35,484
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	30,525	4,959	35,484	—	35,484
セグメント利益又は 損失(△)	2,386	12	2,398	11	2,409

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額11百万円は、セグメント間取引消去11百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,046	5,059	36,105	—	36,105
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	31,046	5,059	36,105	—	36,105
セグメント利益又は 損失(△)	2,328	△35	2,292	10	2,302

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額10百万円は、セグメント間取引消去10百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

セグメント及び製品区分別連結売上高

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント及び製品区分別の連結売上高は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント及び製品区分	前第1四半期 (累計)	当第1四半期 (累計)	増減額	増減の主な要因
食料品事業	30,525	31,046	520	
スパイス&ハーブ	6,458	6,544	85	シーズニングスパイス (増加)
即席	8,392	8,219	△172	即席カレー (減少)
香辛調味料	8,615	9,193	578	チューブ製品、中華製品 (増加)
インスタント食品その他	7,058	7,088	29	パスタソース (増加)
調理済食品	4,959	5,059	99	調理麺 (増加)
計	35,484	36,105	620	